

<卒業研究題目>

<副題>

<主専攻> <学籍番号> <著者氏名>

指導教員：<指導教員氏名・職名>

社会工学類卒業研究梗概テンプレート

制作：多賀重敬（社会経済システム主専攻・第 42 期卒）

v2.1.0 — 2022/06/17

1 このテンプレートについて — About

筑波大学社会工学類卒業研究梗概集原稿の書式を満たす文書様式を提供します（令和 3 年度準拠）。

- 必須項目
 - 用紙サイズ：A4 / ページ番号：禁止
 - 題目：18pt、ゴシック体 / 副題（任意）、学籍番号、氏名、主専攻名、指導教員名：9pt、ゴシック体
 - 目安・変更可能項目
 - 上下余白：20mm / 左右余白：16mm
 - 節・図表見出し：9pt、ゴシック体 / 本文：9pt、明朝体
- 原稿ソースファイルとして提出する際にはファイル名の「xxxxxxx」をご自身の学籍番号に書き換え、ファイル名の末尾に「Source」を追加してください。

なお、このテンプレートは非公式に制作・配布されるものであり、使用により発生した問題等について制作者は一切の責任を負いかねます。0 条項 BSD ライセンスを採用していますので、次頁にて確認の上、予めご了承ください。

2 動作要件 — Requirements

jlreq クラスを使用しており、動作するエンジン（処理系）は p_{La}T_EX / up_{La}T_EX / Lua_{La}T_EX の 3 つです。動作は公開時点における最新の T_EX Live 環境で確認していますが、正常な動作を保証するものではありません。

3 使用方法 — Usage

このテンプレートは以下の部分から構成されています。

3.1 基本設定

必須のレイアウトの設定やコマンドの定義などを行っています。この部分を書き換えることは、その変更の意味や影響を十分に理解していない限り行うべきではありません。

また、ヘッダやフッタを何も表示しない設定にしたうえで `\pagestyle / \thispagestyle` を無効化しています。

3.2 jlreq クラスの呼び出し

`\loadjlreqclass[<オプション>]` で jlreq クラスをオプション付きで読み込みます（内部で `\documentclass[<オプション>]{jlreq}` を行います）。特にオプションを指定しない場合は、引数の角括弧を省略可能です。

jlreq のオプションのうち、`paper=a4,article,oneside,twocolumn,notitlepage` は内部で強制的に指定されています。このため `paper` の変更や `report / book / twoside / onecolumn / titlepage / openright / openany` の入力は無視されます。これらは基本的なレイアウトとして作成要領の必須項目に準じて必要だと制作者が判断したものです。

また、この他にも、作成要領に示された目安・変更可能項目に従って、内部で `head_space=20mm,foot_space=20mm,fore-edge=16mm,gutter=16mm,fontsize=9pt` を指定していますが、こちらは `\loadjlreqclass` の引数で変更できます。

なお、`tate / landscape` は作成要領に明らかに従わないため、入力された場合はエラーを発生して処理を停止するようにしていますので、使用しないでください。

jlreq のクラスオプションとその機能については jlreq クラスの説明書を参照してください。

3.3 節見出し設定

`\ModifyHeading` で節見出しのスタイルの変更を行っています。作成要領の目安に従って、節・小節・小々節を全て `\normalsize`（本文フォントサイズ、デフォルトで 9pt）かつゴシック体にするほか、見た目を整えるためにインデントや前後の空白などを調整しています。これらは書き換えても構いません。

パラグラフ・サブパラグラフは元から `\normalsize` かつゴシック体で表示されるため手を加えていませんが、必要に応じて節など同様に変更可能です。

節見出しの設定項目の詳細については jlreq クラスの説明書の 7.2 節を参照してください。

3.4 図表見出し設定

`\jlreqsetup` で図表見出しを `\normalsize` かつゴシック体にする設定を行っています。変更可能です。

キャプションのその他の設定については jlreq クラスの説明書の 6.5 節を参照してください。

3.5 プリアンブル

図表見出し設定より下はプリアンブルとして、自由にパッケージの読み込みやマクロの定義などに使えます。

3.6 題目などの入力

`\titleitems` の 6 つの引数に、順に「論文題目」、「副題」、「主専攻」、「学籍番号」、「氏名」、「指導教員名・職名」を以下の例のように記入してください。特に、姓名間や教員氏名と職名の間を「全角 1 文字あける」必要があることに注意してください。`jlreq` では `\`（エスケープ文字＋全角空白）で和字間隔を挿入します（`LuaATEX` では全角空白だけでも可）。副題が無い場合は第 2 引数を `\` のままにしてください。題目が長い場合は `\` での改行も可能ですが、改段落はできません。

```
\titleitems{社会工学類卒業研究梗概テンプレートの開発}
           {\LaTeX で組む美しい梗概をもっと簡単に}
           {社会経済システム主専攻}
           {20xxxxxxx}
           {筑波\  子}
           {姓\  名\  教授}
```

3.7 本文

`\begin{document}` から `\end{document}` の間に本文を書きます。論文題目などは `\begin{document}` で自動的に入力されます。`\maketitle` は本文中では無効化されます。

3.8 最終ページについて

このページのように左右の段をバランスさせるにはプリアンブルで `\usepackage[balance]{nidanfloat}` とするのが有効です。ただし、最終ページでの `\newpage` および `\clearpage` が正しく動作しなくなり、特に原稿が 1 ページのみの場合は適切な組版結果が得られません。詳細は `nidanfloat` パッケージの説明書を参照してください。

4 ライセンス — License

このテンプレートは以下の 0 条項 BSD ライセンス (Zero-Clause BSD) の下で配布します。

Copyright (c) 2021-2022 Shigetaka Taga

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

5 更新履歴 — History

- 2021/12/11 (v1.0.0)：初版（令和 3 年度準拠）
- 2021/12/13 (v2.0.0)：全面的に再構成
- 2022/03/07 (v2.1.0)
 - (u)p^AT_EX で正しく機能しない箇所の修正
 - 書き換え禁止箇所と可能箇所をそれぞれ 1 か所に集約
 - `\loadjlreqclass` を導入
 - 図表見出しのデフォルトを `\normalsize` にする修正
- 2022/06/17：ライセンスを MIT から 0BSD に変更